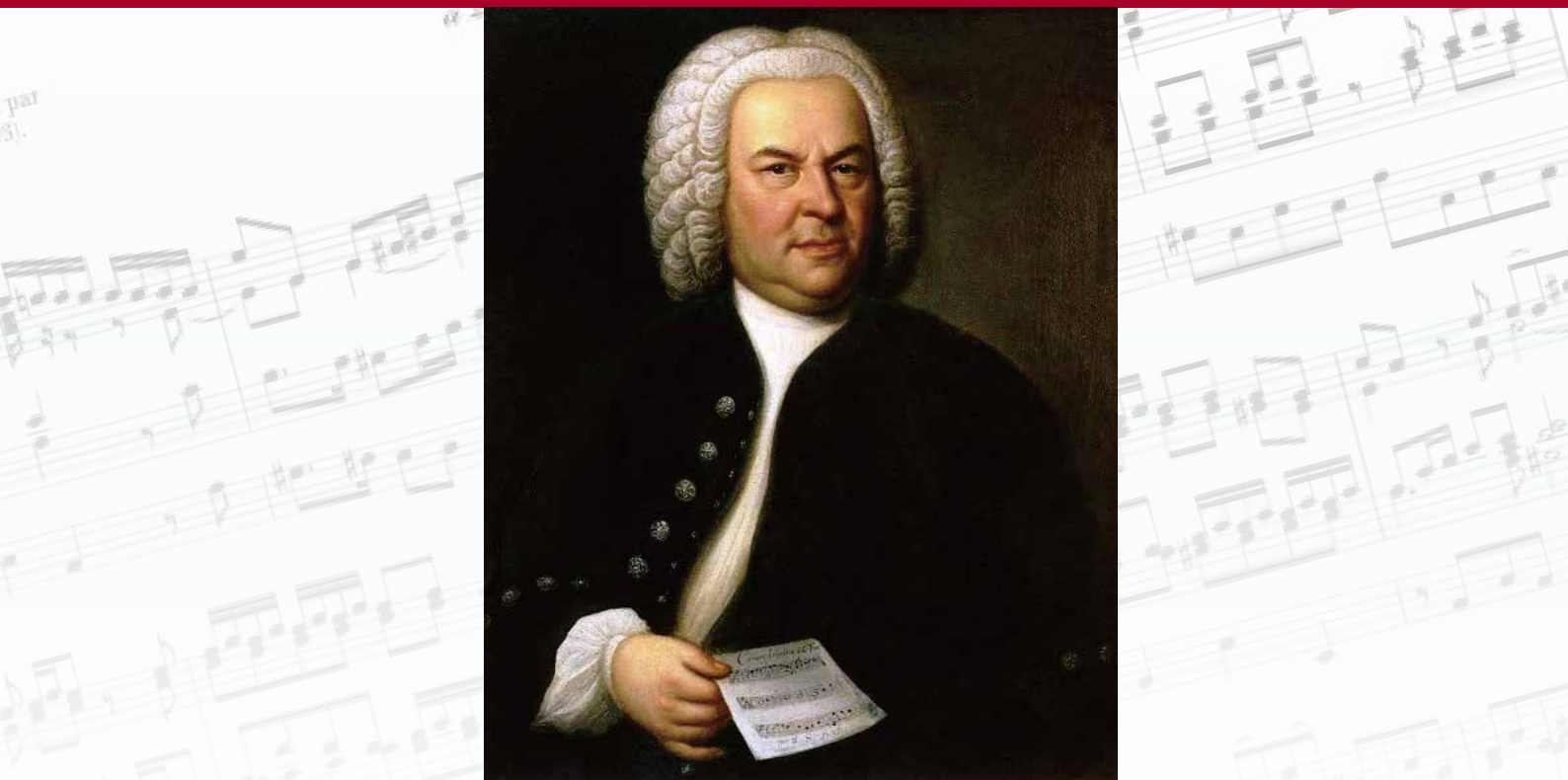


「バッハって、どうして”音楽の父”なの？」シリーズ

バッハは 編曲もうまかった！

～名編曲者としてのバッハ像～



ゲスト 林 豊彦さん

新潟大学 名誉教授 新潟市障がい者 IT サポートセンター 顧問

ヨハン・セバスティアン・バッハ（1685-1750）は 18 世紀前半に活躍した作曲家です。この時代は、民主主義、政党政治、資本主義の揺籃期、つまり近代社会の揺籃期でした。そのため、バッハの音楽には、前近代的要素と近代的要素の両方がありますが、どちらかといえば前者の方が強いです。前近代社会では、音楽家は「芸術家」というよりも「音楽職人」でした。作曲家は与えられた作曲ニーズに対して、適切な内容と質の音楽を迅速に提供することが求められました。編曲能力も音楽職人の重要な能力のひとつです。

バッハの編曲には、1) 他人の作品を演奏したり、勉強したりするための編曲、2) 自分の曲を別の楽器編成で演奏するための編曲、2) 自分が特定の機会のために作った曲を繰り返し演奏できるようにするための編曲の 3 種類があります。今回のカフェでは、この各ケースで原曲と編曲後と比較することにより、バッハが編曲でも天才であったことを示します。

2023 年 12 月 23 日（土）15 時 30 分～17 時 00 分

会場：ジュンク堂書店新潟店 地下 1 階 カフェ 「Waiz プラチカ」

参加費：1100 円(ワインをご希望の方)または 1000 円(ワイン以外の飲み物 1 杯付き、高校生以下は無料)

お申し込み：ジュンク堂書店新潟店レジカウンター（新潟市中央区笹口 1-1 プラーカ 1）

電話：025-374-4411（予約時に飲み物を指定ください）

サイエンスカフェ Web サイト（<http://www.ecosci.jp/n-cafe/>）から Eメールで